

## 東濃地科学センターの状況

### 【土岐地区】

1. 土岐地球年代学研究所施設運転状況
  - ・加速器質量分析装置(AMS)：試験測定終了(2022/9/12～10/19)、<sup>14</sup>C測定開始(2022/10/20～)
2. 地質環境の長期安定性に関する研究
  - ・調査技術の開発・体系化を継続
  - ・長期予測・影響評価モデルの開発を継続
  - ・年代測定技術の開発を継続
3. その他
  - ・東濃地科学センター「サイエンスカフェ(順番が大事～岩の割れ方から地史を読む)」を開催予定(11/12)
  - ・東濃地科学センター「サイエンスカフェ(化石で復元!過去の地震!)」を開催予定(12/17)
  - ・東濃地科学センター「サイエンスカフェ(超小型加速器でSDGs!)」を開催予定(1/14)
  - ・自然史しずおか祭(ふじのくに地球環境史ミュージアム)にて研究成果「富士山の地形から読み解く大地の動き」「大井川の昔の地形と堆積物から分かること:穿入蛇行河川跡に基づく下刻速度の推定事例」を展示予定(10/22～11/3)

### 【瑞浪地区】

1. 地下水の環境モニタリング調査
  - [瑞浪用地]
    - ・研究坑道内において掘削したボーリング孔(05MI01、07MI07、09MI17-1、09MI19、09MI20、09MI21、10MI23、10MI26、12MI32、12MI33、13MI39～41号孔)における地下水水圧観測を継続
    - ・研究坑道内において掘削したボーリング孔(05MI01、07MI07、09MI20、09MI21、10MI26、12MI32、12MI33号孔)、換気立坑(深度500m、深度400m、深度300m、深度200m、深度100m)および深度500m研究アクセス北坑道、深度500m予備ステージ、冠水坑道における地下水水質観測を継続
    - ・地表からのボーリング孔(MSB-1～4、05ME06号孔、MIZ-1号孔)を用いた地下水水圧観測を継続
    - ・地表からのボーリング孔(MSB-2、4号孔)を用いた地下水水質観測を継続
  - [正馬様用地]
    - ・地表からのボーリング孔(AN-1、MIU-3、4号孔)を用いた地下水水圧観測を継続
  - [広域地下水流動研究対象地域]
    - ・地表からのボーリング孔(DH-2、15号孔)を用いた地下水水圧観測を継続
    - ・地表からのボーリング孔(DH-2号孔)を用いた地下水水質観測を継続
2. 瑞浪用地周辺の環境影響調査
  - ・河川水の水質測定及び流量観測を継続(狭間川)
  - ・水位観測を継続(瑞浪用地周辺井戸)
3. その他
  - ・なし